



東地申第2号 「首都圏本部における柔軟な働き方のさらなる実現について」に関する申し入れ団体交渉を実施④

6. 新設される統括センター内の全ての乗務ユニットに引き続き事務担当社員を配置し、業務が滞らないようにすること。

回答：引き続き、これまでの役割分担にとらわれない仕事の仕組みを実現していく考えであり、必要な業務については箇所総体で対応していくこととなる。なお、箇所総体で必要な要員は確保していく考えである。

(組)今回発足する4つの統括センターの事務の現状は？

(会)中野は-2、それ以外は変わらない。直ちに働き方が変わることは考えていない。これまで通りの箇所で出勤、退勤するとは限らない。

(組)中野は南、北乗務ユニットに輸送総合の業務量は残るのか。

(会)業務的に残る。出面で集約する。

(組)中野南乗務ユニットには事務社員はいるが、北乗務ユニットにいない事はあるのか。

(会)あり得る。

(組)来年3月の統括センター発足時、中野のような動きを想定しているのか。

(会)想定している。輸送総合事務は、事務だけをする仕事でなく、いろんな業務にチャレンジして頂きたい。

(組)現場には事務担当者はいるべき。社員が安心して働ける。来年3月発足時(統括センター)の事務は業務量として残るのか。

(会)今回の中野と同じ考え。輸送総合事務に関する業務の考えとして残る。1年通して繁忙があるので、事務だけでなく、いろんなことにチャレンジしてほしい。

(組)活躍フィールドの拡大は何をイメージしているのか？

(会)閑散期にエリアユニットの連携で、企画業務など。

【確認事項】

① 全ての乗務ユニットに引き続き事務担当者を配置すること。【認識合わず】

② 今回の統括センター発足時は要員含めて大きな変化はない。

③ 2025年3月統括センター発足時の事務の業務は、今回の中野統括センターと同じような検討をしている。

④ 中野統括センターの事務業務は、業務量として残るが、働き方が変わっていく。

7. 各統括センターにおける組合員・社員の適性や資格の管理について、責任の所在を示すこと。また、適性や資格については厳正な管理を行うこと。

回答：業務に必要な適性や資格の管理は箇所長の責任において行っており、厳正な管理に努めていく考えである。

(組)適性を管理するのは箇所長か？

(会)実務については適性管理者。最終的には箇所長。

(組)統括センター後、適性管理者が集約となるのか。

(会)今まで通り。

(組)運転士→駅、運転士→車掌で適性の種別が変わる。受験の可否、適性を指定する権限は適性管理者か箇所長か？

(会)適性が必要だと判断があれば、受験させる。箇所長となる。

その⑤へ